

# 40周年ニュース

第8号

2025.8.13発行

山好会40周年記念事業  
実行委員会

## 修験僧侶と歩く「熊野古道・中辺路」

11/9～11（2泊3日）参加者募集します。

今年の熊野古道は、中辺路のうち熊野速玉大社を起点に熊野那智大社と那智山青岸渡寺を経て熊野本宮大社に至る「熊野三山」をめぐるコースを歩きます。

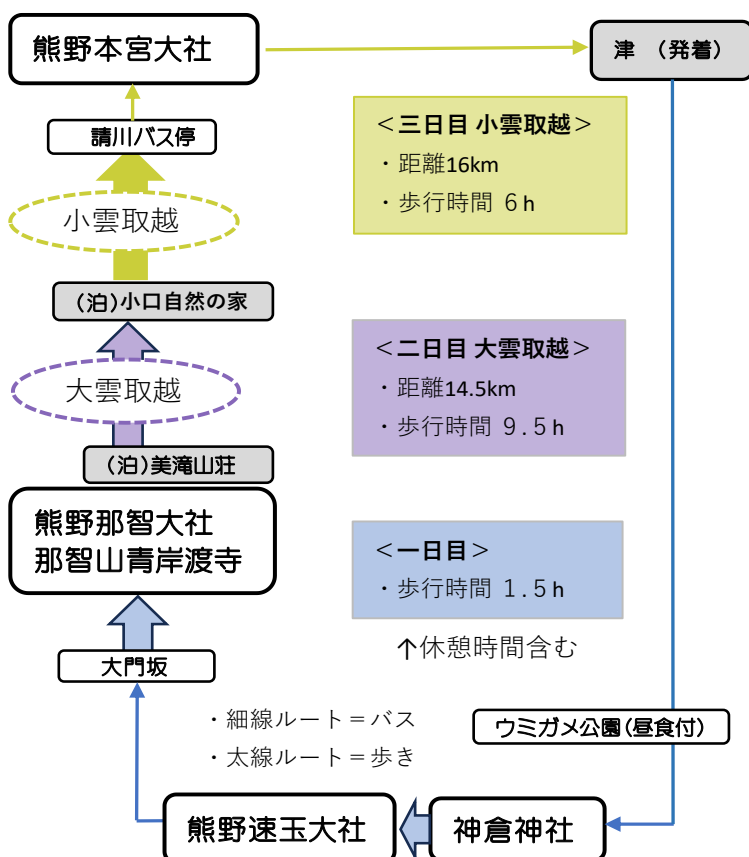
一日目は津をバスで出発、神倉神社と熊野速玉大社を経て那智大社手前の大門坂まで移動します。そして大門坂から熊野那智大社まで歩いて「美滝山荘」に宿泊します。

二日目は、『雲の中を行くような峠越し』といわれ中辺路最難関の「大雲取越」を歩き「小口自然の家」に宿泊します。

三日目は快適な尾根道もある「小雲取越」を歩き、熊野本宮に向かい、帰路はバスで帰ります。貸し切りバスで効率よく回ります。個人では難しい企画です。この機会にぜひご参加ください。



小雲取越の「百間ぐら」(和歌山県サイトより転載)



### ◆ 修験僧侶と共に歩きます。

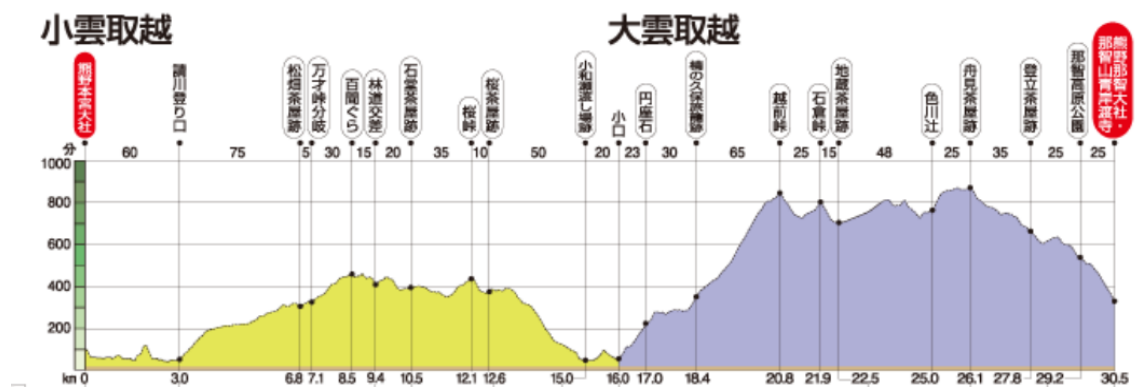
今回、特別に現役山伏として熊野三山に深く関わりご活躍されています生熊青龍僧侶の御好意を得て実施します。一日目の夜は熊野比丘尼として「熊野曼荼羅の絵解き」を実践しておられる生熊みどり様からお話を聴きます。二日目～三日目は僧侶と共に歩きながら熊野古道を語って頂きます。

御二方のお話を聴ける希少な機会となります。

### ◆ 抽選となる場合があります。

会員限定としますが、参加希望者が募集人数を超える場合は抽選とします。また、来年予定の小辺路は、中辺路に参加出来なかった方を優先させて頂くことがあります。～募集案内は9月会報に掲載予定。

## 今回のルートと大雲取越・小雲取越 ●●●



逆ルートを歩きます↓

### 小雲取越 熊野本宮大社～小口 16.0km 6時間（一部分バス利用）

熊野本宮大社を出て、開けた熊野川に沿って歩くと小雲取越の起点である請川に着きます。登り口より山道に入ると、しばらく登り坂が続きます。途中には、後を振り返ると雄大な熊野川を見渡せるポイントがあります。

途中で、左に伊勢神宮に向かう伊勢路が分岐しています。

「百間ぐら」は、小雲取越コースのほぼ中間点で、山深い熊野の峰々を見渡せる名所で、ゆっくりと休憩して眺望を堪能したいスポットです。

賽の河原地蔵から桜峠までは比較的快適な尾根道が続きます。桜峠を過ぎると急な下り坂が続く、下りたところが小和瀬です。小和瀬からはしばらく県道沿いを歩くと、小口集落に到着します。清流「赤木川」沿いに開けた小口は小雲取越と大雲取越の中継点として賑わっていました。

### 大雲取越 小口～那智山 14.5km 9.5時間

大雲取越は人跡希な区間を通る、急な峠越えが続く厳しいルートですが、熊野の神秘を強く感じ取っていただける中辺路ルートのクライマックスともいえるコースです。

小口集落の大雲取越登り口から山道に入ります。途中、熊野三山の神々が集まって談笑した場所といわれる「円座石（わろうだいし）」を過ぎると、胴切坂といわれる厳しい上り坂が続きます。途中には旅籠跡や茶屋跡が点在し、今でも旅人の心を和ませてくれることでしょう。

このあたりは、死者が赴くといわれる熊野の奥深い山の中、越前峠、石倉峠、舟見峠と三つの峠を越えるアップダウンの繰り返しとなる区間です。

舟見峠からは那智高原とさらにその向こうには熊野灘が見渡せます。舟見峠を過ぎると、那智妙法の山麓を下る石畳の道が続きます。

那智高原からさらに下ると、西国三十三所観音霊場一番札所的那智山青岸渡寺の裏側にいます。そして、隣接する熊野那智大社で険しい山越えを果たした成就のお参りをしてゴールです。